

yamaguchi.cycling.federation



Official partnership program guidance

2025-2026



山口県自転車競技連盟 とは

山口県下における自転車競技の統括団体として、自転車競技の健全な普及と体育文化の向上に寄与することを目的としています。

主な活動内容は以下のとおりです。

- ・山口県内の自転車競技に関する競技力の向上
- ・指導者の養成・研究および各種行事の開催
- ・自転車競技大会の開催
- ・各種自転車競技大会への選手派遣



2011年に開催された第66回国民体育大会(山口国体)自転車競技会の開催を契機として、競技の普及や競技役員の養成、競技者の競技力向上に取り組んでいます。

具体的には、自転車愛好者を対象としたイベントの開催による自転車競技の普及・広報活動や、ジュニア競技者の健全な育成、シニア層の健康増進に努めることで、県内全体の競技レベル向上を目指しています。

また、全国各地から競技者や観戦者を迎え入れ、観光交流人口の増加やサイクリングマーケットの拡大を図るとともに、より多くの参加者・観戦者の皆さまからご支持いただける地域活性化イベントの提供に努めています。

地域密着型サイクルスポーツクラブ

地域密着型サイクルスポーツクラブについて

地方における自転車競技の愛好者・競技者の裾野拡大と、さらなる競技力向上のためには、地域独自の環境づくりが重要です。山口県では、2011年の「おいでませ！山口国体」の開催を契機に、2014年からは全日本実業団自転車競技連盟(JBCF)の大会を年間6大会誘致し、2023年には国際ロードレース大会も開催されています。

さらに、2016年には山口県知事の主導による「サイクル県やまぐちプロジェクト」が発足し、地元選手の育成・強化や競技環境の整備を行政と連携して進めています。こうした取り組みを通じて、地域に根ざした実業団クラブチームの運営を目指し、競技力のさらなる向上とサイクルスポーツの普及に努めています。

- ・JBCF(全日本実業団自転車競技連盟)が主催する「Jエリートツアー」への参戦
- ・サイクルスポーツイベントの開催や運営協力
- ・「サイクル県やまぐちプロジェクト」との連携による競技環境の整備
- ・ジュニア世代選手の発掘・育成
- ・県内自転車指導者の養成プロチームや海外遠征への選手の推薦・斡旋



JBCF Team =セービング・山口県自転車競技連盟=

代 表： 棟久 明博
G M： 田中 謙治
事務局 長： 森岡 智之
監 事： 志賀 孝治
監 督： 杉山 文崇
キャプテン： 平井 貴志



2007年より、実業団クラブチーム「エスペランス・スタージュ」を設立し、全国各地で開催される実業団大会に参戦してきました。2016年にはチーム名を「フィールズ・オン・アース山口」に変更し、2017年からは「山口県自転車競技連盟」として活動を始め、現在に至っています。

現在は山口県の選手を中心に、約15名が所属しています。本拠地である山口県内では、地域スポーツの振興やサイクルスポーツの普及、競技者の育成・強化を目的に、さまざまなサイクリイベントの開催・運営に協力しています。また、希望する選手にはフランス等への海外遠征の機会も提供しています。

今後も、九州・中国地方から世界へ羽ばたく自転車競技選手を輩出することを目指し、「サイクルスポーツの普及」と「選手の育成」、そしてより高いレベルでの実戦経験を通じた「競技力向上」に一貫して取り組んでまいります。

JBCF Team =セービング・山口県自転車競技連盟=

登録選手の募集について

JBCF Team セービング・山口県自転車競技連盟では、新たな選手を募集しています。チーム練習やJBCF主催のJエリートツアー(E1~E3)へのレース参加、各種イベントサポートなど、さまざまなチーム活動を通じて、競技力の向上はもちろん、安全な走行マナーや交通ルールの習得にも力を入れています。心身ともに優れたロードレーサーの育成を目指し、意欲ある方のご参加をお待ちしています。

一般賛助会員

年会費20,000円

優待賛助会員

年会費30,000円

サイクルスポーツクラブ会員(ジュニアクラブを含む)

年会費40,000円

JBCF登録チーム会員

年会費50,000円

求められる選手の人物像について

- 限られた時間の中でも自転車競技に真摯に取り組み、競技力の向上を目指す意欲のある方
 - チームが定める主要なレースに積極的に参加できる方
 - JCF(日本自転車競技連盟)およびJBCF(全日本実業団自転車競技連盟)に登録し、登録レーサーとして活動できる方
- 自らの成長を求め、仲間とともに高め合いながらロードレースに真剣に取り組みたい方のご応募をお待ちしています。

チームへのお問い合わせ

チーム代表 棟久 090-5374-8498

山口県ジュニアスポーツサイクルスポーツクラブ

ジュニア選手の育成

2021年4月より、2004年創立の「山口県ジュニアサイクルスポーツクラブ」と合併し、山口県内のすべての世代が一体となって、地域に根ざしたサイクルスポーツの推進に取り組んでいます。

また、JBCF(一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟)が管理・統括する全国各地のツアーにも積極的に参戦。

本拠地である山口県内では、地域スポーツの振興やサイクルスポーツの普及、競技者の育成・強化を目的に、さまざまなサイクルイベントの開催や運営にも協力しています。



お問い合わせ

代表 白川 080-3183-7158

交通安全教育の推進

自転車“ヘルメット着用”努力義務化に向けた取り組み

2023年4月の道路交通法改正により、自転車に乗るすべての方に対してヘルメットの着用が努力義務となりました。これまでは児童や幼児が自転車を利用する際に保護者の努力義務としてヘルメット着用が求められていましたが、改正後は年齢を問わずすべての自転車利用者に努力義務が適用されています。

【道路交通法第63条の11(抜粋)】自転車を運転する者および同乗させる者は、乗車用ヘルメットを着用するよう努めなければなりません。山口県自転車競技連盟では、こうした法改正を受けて、小学校での自転車安全講習(ヘルメットの正しい着用方法を含む)通勤や業務等で自転車を利用する企業向けの安全講習など、幅広い世代と場面に対応した安全啓発活動を展開しています。

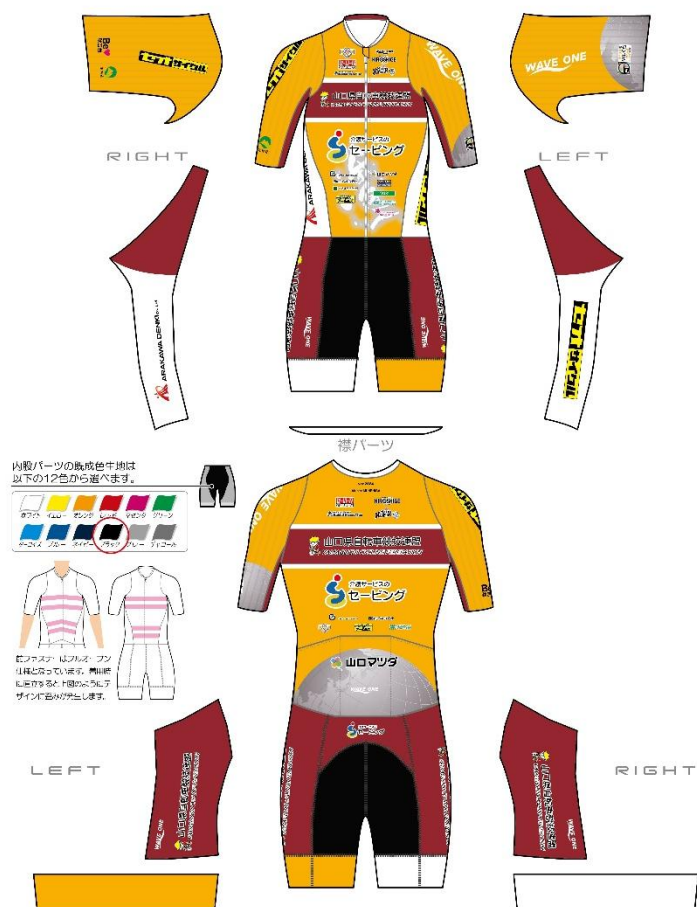
地域社会の安全向上と交通事故防止に貢献するため、引き続きヘルメット着用の普及啓発に取り組んでまいります。



JBCF Team Wear & Jr Team Wear

チームジャージ

JBCF登録チーム セービング・山口県自転車競技連盟



山口県ジュニアサイクルスポーツクラブ



主催事業等



きらら浜サイクルミーティング(山口市)
山口シクロクロスシリーズ(美祢市・下関市・山口市)
JBCF大星山ヒルクライム(平生町)
JBCFしゅうなんクリテリウム(周南市)
国民スポーツ大会・日本スポーツマスターズ選考会(防府市)
JBCFしものせきクリテリウム(下関市)
西日本地域自転車競技オムニアム大会(防府市)



パートナーシッププログラム

■ パートナーシッププログラム

山口県自転車競技連盟のパートナーシッププログラムは、サイクルスポーツの普及と発展、地域の子どもたちや次世代競技者の育成、そして地域社会全体の活性化を目指す取り組みです。

いま、全国的に「学校のクラブ活動の地域移行」が本格的な課題となっており、山口県内でもこれからその動きが進みます。私たちは、こうした新たな時代の流れに対し、学校・地域・関係者の皆さまの声に丁寧に耳を傾け、“寄り添い・伴走型”で現場を支援する存在でありたいと考えています。

企業・団体の皆様には、このパートナーシップを通じて、

- ・社会貢献(CSR)の実現
- ・商品・サービスの効果的なプロモーション
- ・地域社会や次世代育成への具体的な関与
- ・地域の人々や行政・教育現場との持続的な関係構築

など、さまざまな形で企業価値の向上やブランドイメージの強化に資する機会をご提供します。

協賛内容や特典も、貴社のご希望に合わせて柔軟に設計いたします。サイクルスポーツや地域の未来への想いを共有し、ともに新しい価値を創出しませんか？ご関心のある企業・団体の皆様は、ぜひご検討のうえ、お気軽にご相談・お問い合わせください。ともに山口県の自転車文化と未来を創り上げていきましょう。

■ お問い合わせ

yamaguchi98_cf@yahoo.co.jp

山口県自転車競技連盟

担当：

棟久 090-5374-8498

森岡 090-4808-4747



広報活動について

- ・ 一般・地元メディアへの露出
- ・ 自転車競技連盟公式ホームページへの掲載
- ・ Facebookへの掲載
- ・ ポスターの掲出
- ・ 自転車専門メディアへの記事露出(雑誌・Web)



表彰バックボードのイメージ



サイクル県やまぐちプロジェクトへの露出

露 出 展 開

シケイン



スタートフィニッシュゲート



物品提供型

出 店

これまでの実績 (Web・SNS)



Official Partner

山口マツダ

水口電装株式会社 有限会社 荒川電気工業
セオサイクル山口店 GEP Global Racing Project

Rabbit Street Ube 7-11 STEAMWORKS HIROSHIGE HIDEORICH アノサイクル



FACEBOOK

Instagram



今 後 の 展 開

山口県の自転車スポーツは、2011年の「おいでませ！山口国体」をきっかけに、秋吉台カルストロードレースなど地域を代表する大会をレガシーとして継続し、サイクル県やまぐちプロジェクトやジュニア育成の取り組みを通じて、確実にその裾野と夢を広げてきました。そして今、山口から全国、そして世界へと舞台を広げる新たな可能性が生まれています。

・UCI国際大会のレースの開催も視野に入れ検討中

世界基準の自転車競技大会を山口で実現するべく、関係機関と連携しながら調整・検討を進めています。もし実現すれば、国内外からの注目や交流人口の増加が期待されます。

・全日本シクロクロス選手権大会の山口開催を検討

山口きらら博記念公園を会場候補とし、日本最高峰の大会の開催を目指しています。これにより、地域に新たな感動と賑わいをもたらします。

・ジュニア世代の増加と育成強化

地域の子どもたちが自転車を通じて夢に挑戦できる環境づくりも着実に進んでいます。未来のトップアスリートがここ山口から羽ばたいていくことを目指しています。

こうした活動は、スポーツの枠を超え、地域のブランド力や人材育成、健康、観光、産業振興など、幅広い価値を生み出しています。協賛を通じて―全国・世界規模のPRや露出の機会地域貢献・次世代支援というCSR活動の強化企業ブランドのイメージアップ地域・スポーツを舞台とした新たなネットワークやビジネスチャンスといった“企業としての新たな価値創造と未来への投資”が可能です。



自転車を利用したSDGsへの取り組み

「SDGs(持続可能な開発目標)」は、2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年から2030年までの15年間で達成するために掲げた国際目標です。

近年では、新聞やテレビ、学校の授業や職場などさまざまな場面で「SDGs」という言葉を耳にする機会が増えており、日本国内でも広く認知されつつあります。山口県自転車競技連盟でも、このSDGsの趣旨に賛同し、以下のような形で取り組みを進めています。

・健康増進・福祉の推進(目標3)

自転車競技やサイクルイベントを通じて、県民の健康づくりや生きがいづくり、世代を超えた交流の促進に貢献しています。

・質の高い教育の推進(目標4)

ジュニア世代の育成や、学校・地域連携によるスポーツ教育、交通安全啓発活動を通じて、子どもたちの健全な成長と学びの機会を提供しています。

・住み続けられるまちづくり(目標11)

サイクルスポーツを軸とした地域活性化や、持続可能な観光・交流人口の拡大に取り組み、地域社会全体の発展に貢献しています。

・パートナーシップの強化(目標17)

行政・学校・企業・地域と連携し、多様な主体と協力して持続可能な社会の実現を目指しています。

今後もSDGsの理念を大切にしながら、スポーツを通じた「持続可能な地域づくり」や「誰もが活躍できる社会」の実現に向けて、積極的に取り組んでまいります。



JAPAN SDGs Action Platform

自転車を利用したSDGsへの取り組み

SDGs(持続可能な開発目標)とは、“2030年までに達成すべき17の目標”

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



自転車を利用したSDGsへの取り組み

私たちは、自転車イベントの企画・開発を通じてCO₂削減に取り組むとともに、自転車利用の推進によるより良い未来の実現を目指しています。

- ・通勤・通学における自転車利用率の向上を目指した自転車環境の整備
- ・さまざまな自転車インフラの開発を通じて、自転車が活用しやすい街づくりの推進
- ・地域や企業と連携した自転車イベントの実施
- ・SDGsに取り組む企業とのタイアップによる、自転車を活用した環境保全活動や企画提案
- ・自転車ラックの設置など、自転車を利用しやすい環境整備

これらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現と地域の環境価値の向上に貢献しています。

